

産婦人科この一年

産婦人科医長 川村 光 弘

人事移動

森 典久 2001.03.31退職 道立紋別病院へ
 佐々木禎人 2001.03.31退職 国立循環器病センターへ
 日高 康弘 2001.04.01赴任 慶愛病院より
 安達かおり 2001.04.01赴任 日鋼記念病院より

この一年の総括

1) 周産期関連

当科で扱う分娩数は従来一年毎に増加減少を繰り返していた。本年は減少年にあたっていたため、分娩数として460程度を予想していたが、実際には471と予想より多い結果となった。出生率が低下する傾向の中にあって、この地域の出生率は極めて高い水準を維持している。詳細は表1に示すが、名寄市居住者の分娩は260件であり、全体の55%であった。また風連、下川、美深の周辺3町村の分娩は合計90件(19.1%)、南宗谷4町の分娩は合計89件(18.9%)であった。

表1 分娩数の年次別、地域別推移

	1999年	2000年	2001年
名寄市	215	256	260
下川町	21	28	34
風連町	31	32	23
美深町	35	40	33
音威子府村	6	7	3
中川町	15	7	11
枝幸町	30	41	43
浜頓別町	34	20	21
歌登町	15	11	13
中頓別町	8	13	12
西興部村	3	4	5
士別市	6	9	6
その他	29	14	8

2) 婦人科関連

卵巣癌を中心とした悪性腫瘍の症例が多かった。そのため新しい取り組みとして、TJ療法やEMA-CO療法などの多剤併用化学療法に積極的に取り組んだ。3西ナースステーションのスタッフの協力により危険で困難な治療を乗り越えることが出来た。手術件数は219件で前年に比較し47件減少した。しかし開腹手術の件数は前年と同様であった。内容は表2に示す

3) 地域医療関連

当院が道北地域の周産期センターの一つに指定された。小児科ともども職責を果たしてゆく所存である。また高校生や市民、教員を対象とした性教育関連の講演は、川村、日高が7カ所で実施した。また地域医療支援事業として、本年も毎月第3水曜日に中川町立診療所で出張診療を行った。

4) 学会関係

本年は医長が病に倒れたためもあり、不活発であった。

表2 平成12年度産婦人科手術内容

子宮全摘術	33件	帝王切開術	57件
準広汎子宮全摘術	2件	子宮外妊娠手術	4件
腹式子宮全摘術	14件	流産手術	64件
腔式子宮全摘術	17件	頸管縫縮術	10件
子宮付属器手術	26件	その他	13件
悪性腫瘍手術	4件		
良性腫瘍手術	22件		
子宮筋腫核出術	7件		
膣形成術	5件		